

オーエスジー株式会社、リミニストリートとの Oracle EBS サポート契約を

2029 年まで更新

IT 運用コストを 8%削減した実績をもとに、オーエスジー株式会社が生産性向上施策を自己資金で推進する戦略の一環として、リミニストリートとの長期的なパートナーシップを継続

(米国ラスベガス – 2025 年 6 月 17 日) – エンタープライズソフトウェアのサポート、イノベーションソリューションをエンドツーエンドで提供するグローバル企業であり、Oracle、SAP、VMware ソフトウェアに対する第三者保守サービスの主要なプロバイダーである Rimini Street, Inc. (Nasdaq: RMNI)は、精密切削工具、転造ダイス、機械部品の製造において世界をリードするオーエスジー株式会社が、成長と収益性の目標加速に向けて、リミニストリートとの契約を延長したことを発表しました。

リミニストリートが提供する Rimini Smart Path™は、年間ソフトウェアサポート費用を最大 50%削減することで大幅なコスト削減を実現し、重要な基幹システムを長期にわたって最適に稼働させながら、その節約分を戦略的な施策やイノベーションに再投資するというアプローチです。オーエスジー株式会社はこの戦略を採用することで、IT 運用コスト全体の 8%削減を達成し、工場の自動化施策に向けたリソースを確保することができました。

オーエスジー株式会社 IT 戦略部 部長の原田剛氏は、次のように語ります。「ベンダーのロードマップに従う場合、当社にとって不要な機能のためにアップグレードを継続的に実地する必要がありました。リミニストリートとの契約により、当社のビジネスニーズに基づいた IT ロードマップを自らの手で再びコントロールできるようになり、その結果、オラクルの保守および運用にかかる固定費を大幅に削減することができました。これらのコストは当社の IT 予算全体の 86%を占めていました。リミニストリートの導入によってアップグレードの連鎖から解放され、IT 全体のコストを 78%まで抑えることができ、新たな価値創出に向けた資金と柔軟性を確保することができました。」

リミニストリートの CEO、Seth Ravin は、次のように述べています。「現在、IT 予算の約 90%が、システム維持のために使われており、イノベーションや成長に充てられるのはわずか 10%です。それではまったく足りません。私たちリミニストリートの使命は、オーエスジー様のような企業がより多くの重要なリソースを取り戻し、さらなるコスト削減や効率化、そして成長の可能性をもたらすプロジェクトに投資できるよう支援することです。」

ベンダーのロードマップではなく「安定性」「現実性」「イノベーション」を選択

1938 年の創業以来、オーエスジー株式会社は高品質・高性能な切削工具の提供を通じて信頼を築いてき

ました。2010 年に Oracle E-Business Suite (EBS) を導入した際には、営業、受注管理、在庫、会計、生産といった業務を統合管理する効率的なシステムの構築を目指していました。しかし、Oracle のロードマップとクラウド移行の強い推進は、オーエスジー株式会社の長期的なビジョンと相容れないものでした。

原田氏は、次のように語ります。「当社もクラウドへの移行を検討しましたが、最終的には見送ることにしました。現在の EBS はオンプレミスのアーキテクチャ上に構築されており、同等の可用性をクラウドで再現するには莫大なコストがかかります。」

オーエスジー株式会社がオンプレミスを継続する決断をしたことが、イノベーションの妨げになっているわけではありません。むしろオーエスジー株式会社は、リミニストリートがコアシステムの安定運用を支える一方で、新たなデジタルツールを統合するハイブリッド型のアプローチにより、効率化を着実に進めています。

「私たちの目標は、既存のカスタマイズされたシステムと新しいデジタルツールを連携させることで、工場の生産性を高めることです。リミニストリーの支援により、当社の条件とスケジュールに基づいて、ビジネスニーズに合ったイノベーションを実現できています。」と原田氏は語りました。

変わらぬサービス品質が支える長期的な信頼関係

リミニストリートとの協業によって多くのメリットを実感してきたオーエスジー株式会社は、契約を 2029 年 2 月まで延長しました。これは、オーエスジー株式会社がこのリミニストリートとの戦略的パートナーシップに大きな価値を見出していることを明確に示しています。

原田氏は、次のように述べています。「契約当初から今日に至るまで、リミニストリートとの関係は一切変わっていません。それは非常に稀なことであり、リミニストリートは、最初に契約したときと同じレベルの丁寧さと配慮をもって、今も私たちをサポートしてくれています。彼らの専門性と的確な助言を高く評価しています。」

日本リミニストリーのチーフテクノロジーオフィサー 日本担当である神戸信岳は、次のように述べています。「オーエスジー様に長期的なパートナーとして当社を選んでいただけたことを、大変光栄に思います。オーエスジー様と当社の相互の継続的な信頼関係、そして地域の成功への貢献は『ビジネスのニーズを第一に、技術はその手段である』という共通の原則のもとに築かれています。今後も協力しながら、オーエスジー様が切削工具業界をリードし続けるというビジョンの実現を支えてまいります。」

オーエスジー株式会社がリミニストリートとのパートナーシップを通じて推進するイノベーションの詳細は、[こちら](#)をご覧ください。

SAP、Oracle、VMwareをはじめとする多様なアプリケーションに対応し、競争優位性、収益性、そして成長を支える超高速・高信頼なサポート、マネージドサービス、セキュリティ、インテグレーション、可観測性、プロフェッショナルサービス、エンドツーエンドのアウトソーシングソリューションについて、リミニストリートの[ポートフォリオ](#)をぜひご覧ください。

リミニストリートについて

ラッセル 2000® カンパニーであるリミニストリート（Rimini Street, Inc. (Nasdaq: RMNI)）は、エンドツーエンドのエンタープライズソフトウェアサポート、イノベーションソリューションのグローバルプロバイダーであり、Oracle、SAP、VMware のソフトウェア製品に対する第三者保守サービスにおいて業界をリードする企業でもあります。リミニストリートは、エンタープライズアプリケーション、データベース、テクノロジーソフトウェアの実行、管理、サポート、カスタマイズ、設定、接続、保護、監視、最適化を行う統合ソリューションの包括的なポートフォリオを提供しています。Fortune Global 100、Fortune 500、中堅企業、公共機関、政府系組織などの数千件の顧客が、リミニストリートを、業務遂行に必要な、信頼できる実績あるエンタープライズソフトウェアソリューションプロバイダーとして採用し、その結果、より優れた運用成果を達成し、数十億ドルのコスト削減を実現し、AI やその他のイノベーション投資に資金を振り向けています。

詳細は、<https://www.riministreet.com/jp/>、をご覧ください。また X、Facebook、Instagram、LinkedIn でのフォローもお待ちしております。

将来予想に関する記述

本書に含まれる一部の記述は、歴史的事実ではなく、米国の 1995 年私募証券訴訟改革法のセーフハーバー規定における将来予想に関する記述に該当します。将来予想に関する記述は、一般に、「予測する」、「想定する」、「信じる」、「続ける」、「可能性がある」、「現時点では」、「推定する」、「期待する」、「見込む」、「将来」、「意図する」、「場合がある」、「かもしれない」、「見通し」、「計画する」、「起こり得る」、「目標とする」、「あり得る」、「予想する」、「推定する」、「思われる」、「求める」、「はずである」、「予定する」、「だろう」などの単語やフレーズまたは表現が使用されています。これらの将来予想に関する記述は、将来の出来事、将来の機会、世界的な拡大およびその他の成長構想に関する取り組み、ならびにかかる構想に対する当社の投資に関する当社の期待に関する記述を含みますが、これらに限定されるものではありません。これらの記述は、様々な仮定および経営陣の現在の予想に基づくものであり、実際の業績を予測するものではなく、また、歴史的事実を記述するものでもありません。これらの記述は、リミニストリートの事業に関する多くのリスクおよび不確実性の影響を受け、実際の結果は大きく異なる可能性があります。これらのリスクおよび不確実性には、次のもの（但し、これらに限定されません。）が挙げられます：係属中の訴訟または新たな訴訟（未決の上訴申立の処分および新たな請求を含みます。）の防御における不利な展開およびこれに関連するコスト。リミニ II 訴訟に関連した裁判所の差止命令に従うために負担す

る費用ならびにこれらの努力が将来の期間の収益およびコストに対して与える影響。景気後退傾向を含むマクロ経済傾向の影響、地政学的緊張の高まりおよび外貨為替の変動などを含むリミニストリーットの事業環境の変化、ならびにリミニストリーットが事業を行う業界やリミニストリーットの顧客が事業を行う業界に影響を与える金融、経済、規制、政治面の一般的な状況。エンタープライズソフトウェア管理およびサポートの環境の進化、ならびに市場の認識を高めることで顧客を惹きつけ保持し、顧客基盤へさらに浸透する能力。ソフトウェアサポートサービス業界における厳しい競争および当社の価格モデルに関する方針。新製品、パートナーシップ、アライアンスプログラム（ServiceNow との提携を含むがこれに限定されない）に関する当社の期待。収益を拡大する能力、収益を正確に予測する能力、現在の収益予想および製品拡大を踏まえたコスト管理の取り組みの結果。前年度および当年度における人員削減による影響と、それに伴う組織再編費用。当社の獲得可能な最大市場規模の推定、および他のプロバイダーを使用した場合の顧客の節約額の予想。当社の販売サイクルにおける時期の変動。顧客維持率に関連するリスク（顧客維持率を正確に予測する能力を含みます。）。当社経営陣の 1 人または複数のメンバーの終任。有能な追加の人材を惹きつけて保持する当社の能力。当社の事業計画、将来の成長能力、収益性を達成し維持する能力。オラクル PeopleSoft 製品向けのサービス提供を終了する計画。当社の株価の変動性とそれに伴う証券取引所の上場要件の遵守。有利な条件で株式またはデットファイナンスによる資金調達を行う必要性および能力、ならびに当社の成長戦略への投資の増加に資するために事業からキャッシュフローを生み出す能力。グローバルオペレーションに関するリスク。当社の IT システムに対する不正アクセスおよびその他のサイバーセキュリティ上の脅威を防ぐ能力。当社が使用する可能性のある、または当社の第三者ベンダーおよびサービスプロバイダーが使用する可能性のある生成型人工知能（AI）技術に関連する欠陥。当社の従業員および顧客の機密情報を保護し、プライバシー規制を遵守する当社の能力。財務報告に係る有効な内部統制システムを維持する当社の能力。当社のブランドおよび知的財産を維持、保護および強化する能力。税法の改正を含む各法令の改正や当社の税務ポジションに対する不利な結果、関税コスト（米国政府が課した新たなまたは増額された関税および影響を受ける国々による報復的貿易措置の可能性を踏まえた関税救済措置や関税軽減能力を含む）。当社による適切な税務引当金の計上不足。当社の繰越欠損金からの利益実現能力。環境、社会、ガバナンスに関する事項が当社の評判や事業に与えるあらゆる負の影響、および当社の事業がそのような事項に関する報告から追加のコストやリスクにさらされること。米国政府および国際政府との良好な関係を維持し、政府関係機関との新規契約を獲得する能力。当社の信用枠の継続的な債務返済義務および当社の事業に関する財務・業務上のコベナントならびに関連金利リスク。当社の流動性要件を満たすための現金および現金同等物の充足度。当社の株式買戻プログラムに基づく買戻の量および時期（もしあれば）ならびにかかるプログラムを通じて株主価値を高める当社の能力。リミニストリーットの持分証券の長期価値に対する不確実性。当社または当社の顧客の事業を阻害する大惨事。2025 年 5 月 1 日に提出されたリミニストリーットの Form 10-Q による四半期報告書において「リスク要因」という見出しで説明され、リミニストリーットの将来の Form 10-K による年次報告書、Form 10-Q による四半期報告書、Form 8-K による臨時報告書、およびリミニストリーットの米国証券取引委員会へのその他の提出物によって随時更新されるもの。また、将来予想に関する記述は、本書の日付時点における、将来の事象および見解に関するリミニストリーットの期待、計画または予測を述べたものです。リミニストリーットは、その後の事象および展開により、リミニストリーットの評価が変化することを予想しています。しかしながら、リミニストリーットは、将来のある時点で、これ

らの将来予想に関する記述を更新することを選択する可能性があります。リミニストリートは、法令により要求される場合を除き、そのような更新を行う義務を負うことを明確に否認します。これらの将来予想に関する記述は、本書の日付以降のいかなる時点においても、リミニストリートの評価を表すものとして依拠されるべきではありません。

© 2025 Rimini Street, Inc. All rights reserved. 本書の著作権はリミニストリートに帰属します。「Rimini Street」は、米国およびその他の国における Rimini Street, Inc.の登録商標です。Rimini Street、Rimini Street ロゴ、およびその組み合わせ、その他 TM の付いたマークは、Rimini Street, Inc.の商標です。その他のすべての商標は、それぞれの所有者の財産権を構成するものであり、別段の記載がない限り、Rimini Street は、これらの商標権者または本書に記載されているその他の企業との提携や協力関係にあるものでもなく、またそれらを支持しているものでもありません。